

【美里町・オリコンサル 指定管理基本協定を締結 =交流の森・交流館= 運営通じ、地域価値向上へ】



指定管理基本協定を締結

|| 交流の森・交流館 ||

運営通じ、地域価値向上へ

美里町・オリコンサル

宮城県美里町とオリコンサルタルコンサルタツは11日、「美里町交流の森交流館」||写真||の指定管理基本協定を締結した。

締結式は美里町近代文学館町民ギャラリーで執り行われ、相澤清一美里町長、大橋昭太郎美里町議会議長、町議会議員、町内の観光・物産等の関係諸団体、指定管理者候補者選定委員会会長の宮城大学佐々木秀之准教授、野崎秀則オリエンタルコンサルタツ社長などが臨席した。

「美里町交流の森・交流館」（94年開業）は、

18年度末に現在の指定管理期間が終了することに伴い、観光施策の推進と地域産業の活性化を図る事を目的として、美里町が指定管理者を公募。これに対し同社は、安心・安全を第一に、地元と連携し効率的かつ安定的な管理体制を構築し、「お客様に喜んでいただけるサービス提供」「地域と連携し地域貢献」「町の魅力を広く発信」の3点をコンセプトに応募し、企画提案をした結果、19年4月1日から24年3月31日までの5年間の指定管理者に指定された。

今後、同社は、「美里町交流の森・交流館」の利用者数を、指定管理最終年度には、現在の約2・5倍に増加させる目標を達成するよう、地元と共に利用者サービスの向上に努めていく。「美里町交流の森・交流館」の運営を通して、「魅力ある地域づくり」と「持続可能な地域づくり」を行い、地域価値の向上に取り組んでいく。